

## 大腸内視鏡検査・内視鏡治療に関する同意書

この度貴院にて大腸内視鏡、内視鏡治療を受けるにあたり、その内容、目的、方法について説明を受け納得しましたので同検査、治療の施行に同意します。また同検査、治療に関連した合併症が生じた際には、医師の医学的な判断に基づいて必要な処置を受けることも承諾します。

蓮尾胃腸内視鏡クリニック

蓮尾 直輝 殿

検査年月日                      年                      月                      日

記入年月日                      年                      月                      日

( 本人 )

住所  
氏名

# 大腸内視鏡検査前の処置について

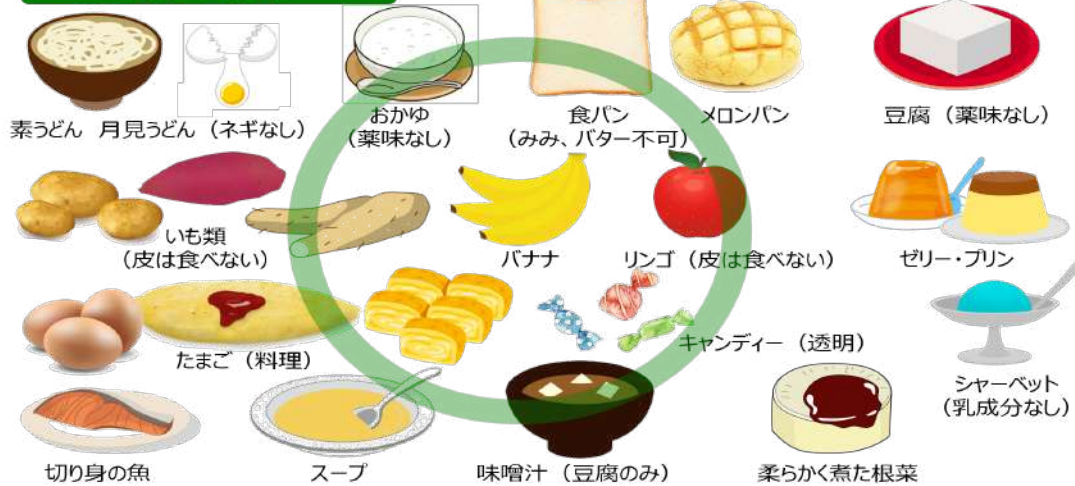
様

来院日時： 月 日（ ） 時 分

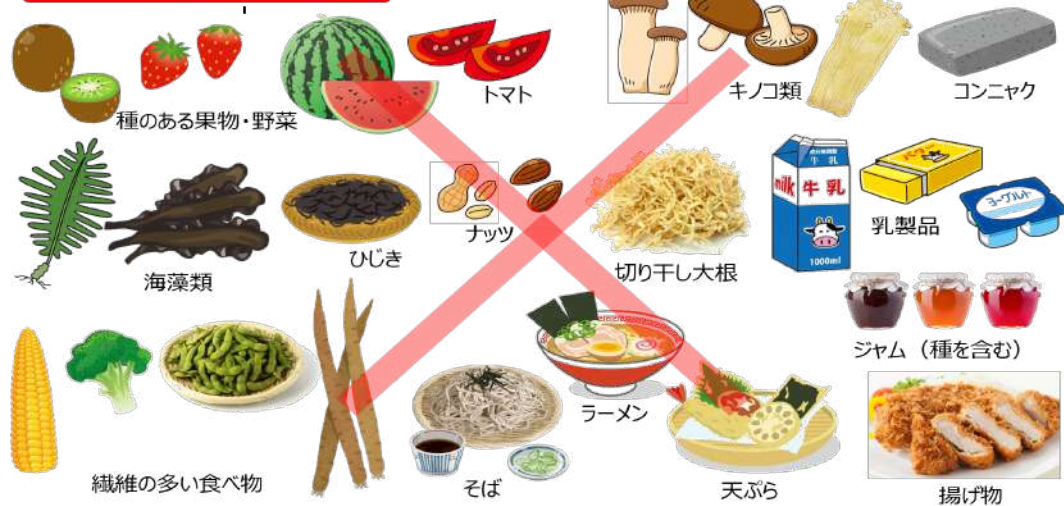
※午前診察の状況により検査開始時間が遅れる事がありますのでご了承下さい。

抗凝固剤（血液をサラサラにする薬）を 中止してください ・ 中止しません  
中止期間は 月 日から \_\_\_\_日中止してください

## 好ましい食べ物



## 避けたい食べ物



上記にある避けたい食べ物を検査2日前から控えるようにしてください。

検査前日は好ましい食べ物の中から選んで、前日21時までに召し上がってください。

検査前食(2食セット・3食セット)のご用意もごさいます。

お通じが硬くならないよう、水分はしっかりとってください(1リットル以上)

夕食後、下剤プルゼニドを2錠 コップ一杯の水で飲んで下さい。

検査当日は朝食、昼食は絶食としますが、お水、お茶は自由にお飲みください。  
ただし、胃カメラを同じ日に受ける方はスタッフの指示に従ってください。

血圧のお薬を飲まれている方は、必ず朝7時頃までに服用して下さい。  
糖尿病の方は、朝から絶食の為、インシュリンまたは糖尿病薬の服用は中止して下さい。

#### <当日の持ち物>

保険証、 大腸内視鏡検査・内視鏡治療に関する同意書  
下着などの着替え、500ml程度の水またはお茶

#### < 自宅処置の方へ >

- ① 自宅で処置をされる方は当日の朝(移動時間を除く4時間前が目安)より開始して下さい。
- ② 最初の1杯目もしくは、下剤を飲む前にガスコン錠2個をお飲みください。
- ③ 作成方法・飲み方は別紙パンフレットをご参照いただきます。
- ④ 自宅を出る予定時刻になっても、便がきれいにならない場合は当院にお電話ください。

#### 注意事項

- ・ 下剤を飲んでいる時も身体を出来るだけ動かして下さい。
- ・ 下剤を飲んでいる時もお茶、お水は飲んで頂いてもかまいません。
- ・ 全量のみ終えても排便がない時、気分が悪くなったり、お腹が痛くなった時は直ちに連絡ください。

#### < 当日の服装について >

- ・ 検査着は使い捨てのパンツに着替えますが上の服はご自身の服です  
当院貸し出しのTシャツ等がありますが、気になる方はご持参ください
- ・ ポリープの大きさ・状態により、通電して焼き切る処置が必要な場合がありますので  
事前に貴金属を外していただくようお願いします。

**※検査終了後は注射の影響が残るため、運転は危険です！**

自転車・バイク・自動車を運転でのご来院はご遠慮下さい。

蓮尾胃腸内視鏡クリニック 池田市呉服町3-9

072-752-2936

# 大腸内視鏡検査について

- 1. 出血源の特定、炎症の有無、ポリープや癌の早期発見を目的に電子内視鏡を用いて大腸を観察します。**
- 2. 検査時に大腸の中に便が残っていると正確な診断の妨げになります。「大腸内視鏡前処置について」に従って正しく準備しましょう。**
- 3. 大腸の中で内視鏡を動かす際、腸の曲がり角などでは痛みを感じる場合があります。また腸の中に空気が入るためにお腹が張った感じがします。検査前に腸の運動を抑える注射をします。緑内障、心臓病（不整脈・狭心症）、前立腺肥大などの既往のある方は申し出て下さい。**
- 4. 病変の組織診断が必要な場合は病変の一部を採取して顕微鏡による組織検査に提出します。またポリープに関しては、安全に切除できると判断した場合、その場で内視鏡下にて切除し病変全ての組織検査を行います。内視鏡下ポリープ切除は手術に準じる処置ですから本人またはご家族のご理解が必要です。次項の「大腸ポリープ切除術を受けられる方へ」をよく読んで承諾される方は、署名欄に自署して下さい**
- 5. 検査終了後、所見を説明いたします。生検や切除したポリープの組織診断の結果は1週間後になります。**

## 大腸ポリープ切除術を受けられる方へ

**大腸ポリープについて**：大腸ポリープの多くは大腸粘膜から発生した腫瘍（腺腫＝せんしゅ）で前癌病変になる事もあると考えられています。実際にポリープを切除して顕微鏡で調べてみると一部に癌が潜んでいたり、時には全体が癌化していることもあります。すなわち大腸ポリープを発見した場合、切除して顕微鏡で調べてみる事が、大腸癌の予防、早期診断、早期治療になります。

内視鏡で、ポリープを発見した場合切除の為、高周波電気メスによる焼却に加え、必要に応じて止血剤の注入や止血クリップの併用などの操作を行い術後の出血を予防します。それでも、ごく稀に後で出血を起こし、再度、止血操作が必要になることがあります。止血に関して、血友病などの出血性疾患の方や心臓病などで血液が固まりにくくなる薬剤（ワーファリン・プラビックス・バップアリンなど）を常用されている方は、必ずお知らせ下さい。数日前より中止して頂く必要があります。又、手術後の出血を未然に防ぐために切除したポリープの大きさ、形などによって下記のご協力をお願いする事があります。

- ① 自宅安静 （1～2日）
- ② 止血剤点滴のための通院 （1～3日）
- ③ 食事制限 （粥食 1～5日）
- ④ 入浴の制限 （1～3日）
- ⑤ 激しい運動 （テニス、ゴルフ、水泳）の制限 （1～7日）
- ⑥ 禁酒 （1～3日）
- ⑦ 便を柔らかくする薬の内服 （3～5日）

これらの点にご留意のうえ、検査後のスケジュールを調整して下さい。

尚、病巣の大きさ、形によっては、出血や穿孔（腸に穴があく）などの合併症を生じることが稀にあります。危険性が高いと判断した時や、ポリープの数が多く1回に取りきれない場合はその場での切除は行わず、後日改めて施行することがあります。又、安全と判断して切除した場合でも、検査後、止血剤の点滴を当日行う場合があります。

以上の説明を読んでさらに分からない点や心配なことは検査前に医師に説明を受けて下さい。また内視鏡下の治療を行なった場合、手術に準じる治療ですので手技料が加算されます。費用については受付にお問い合わせ下さい。